

# 「歯周病」と「歯ブラシ」

## 歯周病学から抜け落ちた奥歯の7番問題を語る

九州歯科大学名誉教授・YDA代表横田塾長、日本包括歯科医学会学術顧問

【講師】 **横田 誠先生**



【日時】 1月12日(土) 18時～20時

【会場】 **TKP博多駅前シティセンター**

(福岡市博多区博多駅3-2-1 日本生命博多駅前ビル8F/TEL092-433-2833)

※1階に「福岡歯科大学口腔センター」が入っているビルです。

【参加費】 **会員無料** ※会員外の先生はこの機会にぜひご入会下さい

**「歯周病を治せば死なずに済んだのに。」「無駄死にしない技術」堀江貴文**

### 1、「入れ歯人口増加」の予測～放置してはいけない

現在、日本の人口の約25%は高齢者で、やがて40%になると予測されている。それに伴い、入れ歯患者も増え続けると言われている。これは言い換えれば歯を失う患者が増え続けるということだ。それで良いのか、予測できるなら早く手を打たなければならない。それが歯科医師・歯科界に与えられた使命だ。

### 2、市販歯ブラシの問題点

歯を喪失する重要な原因の一つに歯周病が挙げられる。歯周病の予防には歯ブラシは欠かせない。現在市販されている平型歯ブラシはいずれもプラークの除去効果が低いことが調査・研究で解っている。特に奥歯の7番に残存しやすく、歯周病に罹患し易い。7番は歯列の中で最も重要な歯だ。これを「7番問題」と言う。

### 3、奥歯の「7番問題」とは

7番は 1) 全咬合力の5割を担い、6番を支えている、2) プラークコントロールが最も難しい、3) 遠心はセメント破壊が起こる、4) 後方支援がない、5) 口腔陰圧を作り、頸椎を守って口腔機能を守る価値ある歯だ。その歯が、歯周病が治りにくい、最も早く失われている。これが7番問題だ。7番欠損から始まる7番ドミノを防がなければならない。

### 4、奥歯7番を守る二つの開発

#### 一、効果的にプラークを除去できる Peritect の開発

奥歯7番にも効果的に磨け、プラークコントロール指導の時間短縮に成功した。この歯ブラシはNHKテレビの取材を受け放映された。しかし、いまだに知らない人が多いのは7番問題に気付いていないからだ。

#### 二、Perio. Occlusal Rehabilitation の開発

「治りにくい歯周病」を治す。

この研究は1990年、日本から世界に発信する英文に選ばれた。プラークフリーに成功しても「治りにくい歯周病は7番であった。」7番については咬合による「病」から守る必要がある。そこで、7番と同様の問題を抱える今まで難治と考えられていた高齢者、アスリート、高咬合力、歯ぎしり、などの症例にはリハビリテーションの概念を導入した“噛める歯周病治療システム”を開発して効果を上げている。

食べる力を維持するこの治療システムは高齢者のフレイル、サルコペニアを予防するための歯科界からの答えになるものだ。

**【FAX:092-473-7182】**

1/12(土) 横田誠先生講演会参加申込書

医院名 \_\_\_\_\_

会員氏名 \_\_\_\_\_

合計 \_\_\_\_\_ 名